

# 平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		事業コード		担当部課	部課コード	810600	2991-0308	
810610		ふるさと研究活動事業		生涯学習推進センター				
開始年度		平成	7	年度	終了年度	平成	年度	
		10		19		20		
事業の概要	事業の種類別	自治事務			法定受託事務	法定受託 + 附加		
	分野別計画・指針	第4次所沢市生涯学習推進計画・所沢市教育振興基本計画						
	関連・類似事業	収蔵庫設置推進事業 資(史)料の収集・整理・保存・活用事業						
	総合計画の体系	章	教育・文化・スポーツ	節	市民文化	基本方針	ふるさと研究を推進するための環境の整備	
事業開始の背景	平成7年2月、市長の施政方針で博物館建設について専門委員会での検討を進めるとの方針が示される。同年、博物館建設のための市民懇話会を設置。平成10年度、博物館基本構想策定委員会を設置。平成14年5月に同委員会が提出した報告書を受け、博物館の設置を推進するための「博物館設置推進事業」が立ち上がる。平成21年度、生涯学習推進センターの開設により、同センターふるさと研究エリアを拠点とした「ふるさと研究活動事業」および「収蔵庫設置推進事業」として引き継がれる。							
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)							
	子どもから高齢者まで幅広い世代の市民や、所沢を訪れるすべての人たちが、「ふるさと所沢」に関する学習に必要な情報を得ることのできる拠点としての施設整備と、その裏付けとなる活動への積極的な市民参加を進める。							
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	342,564			
	全市民			平成 27 年度	343,067			
事業の具体的な内容及び実施方法								
1 「ふるさと所沢」の自然・歴史・芸術・文化・産業等の資料収集、調査・研究を進め、展示・講座・学習会等を通じて市民に伝える。 2 所定の講座を受講した市民ボランティア(「市民学芸員」)との協働をはかり、活動を充実させる。 3 活動の幅を広げるため、既存の学習団体や地元企業・学校教育との連携を進める。 4 教育振興基本計画に基づく「資料を収蔵・展示・研究できる収蔵庫」の設置に向け合意形成をはかる。								
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)		
	予算現額			7,743	7,795	8,006		
	決算(見込み含む)			7,414	8,312			
	(非常勤特別職員)	(臨時任用職員)	( 2.51 人)	( 0.00 人)	( 2.51 人)	( 0.00 人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。	
	正規職員人件費			2.44 人	21,279	2.36 人		20,438
	事業費合計			28,693	28,750	8,006		
財源内訳	一般財源			28,693	28,750	8,006		
国・県支出金								
その他( )								
実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	参加・利用者数	展示見学者、講座等参加者、閲覧学習利用者の延べ人数	人	6,245	5,245		
		企画事業開催数	企画展、講座・体験学習会等の開催件数	件	9	6		
		市民学芸員の参加	資料整理や主催事業に協力した市民学芸員の延べ人数	人	652	484		
成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	博物館活動に関心を持つ市民	展示見学者、講座等参加者、閲覧学習利用者の延べ人数	目標値	4,700	4,700	5,500	
				実績	6,245	5,245	<input checked="" type="checkbox"/> 実績拡大図る <input type="checkbox"/> 実績縮小図る	
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	133	112	どちらかをチェックしてください	
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)			(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析				
	市民学芸員による事業(展示事業)の関与については、年ごとに内容が複雑化するとともに、参加人数等が増える傾向になってきている。27年度には資料(神社)調査や通年事業の展示解説文の作成・解説会などを行ってもらった。これにより市民学芸員の意識向上が図れ、事業広報にも力を入れてくれたおかげで、来場者が増えている。							
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	星空フェスティバルや講座等の普及事業については、これまでの蓄積を生かし効率的な展開を志向する。展示事業については、職員の企画立案能力の育成を視野に入れた充実をはかっていく。			
		次年度予算	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持	理由	展示事業は、労力を要する一方で人の目に触れるのは会期中のみとなる。その成果をより豊かに活用するため、継続的な記録冊子(図録)等の発行を検討する必要がある。			
評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性				
	本年度は、企画展に比重を置き、「ふるさと研究展示記録冊子」の発行を行う。また講座・体験学習会等を開催し、多くの市民の参加と市民学芸員活動を活発化する。			普及活動と資料の収集・整理等をバランスよく進めていく必要がある。また、既存資料の把握にも努めていく。				
評価日	H28.8.19		評価者職氏名	生涯学習推進センター 所長 倉富恵理子				
環境影響	有益な環境影響		有害な環境影響を及ぼす原因活動	資料の作成		規制を受ける環境法令等	無	
						緊急事態	無	